

対面授業のガイドライン一部修正（2022年4月16日付）

ヒューストン日本語補習校

対面授業へ向けてのガイドライン一部修正（2022年4月16日付）

※ 下線を引いた赤字箇所が変更点

1、児童・生徒は登校前に各家庭での検温を実施

◆ 発熱、咳、喉の痛み等の風邪の症状がみられる場合

- 担任へ報告し病気欠席（自宅での病状確認）
- 病状が改善せず、微熱が続く、咳や喉の痛み等があり、体調が回復しない場合は病院で診断

◆ COVID-19 への感染確認がなされた場合

- 児童生徒が COVID-19 に感染した場合、保護者は担任又は事務局へ連絡
- COVID-19 に感染した児童・生徒は『出席停止』。
- 体調が回復し陰性が証明後（PCR 検査や簡易の検査キットも可）に登校
- 家族及び児童・生徒の感染が確定し、補習校に在籍する兄弟姉妹がいる場合は、兄弟姉妹は濃厚接触者として自宅待機『出席停止』措置（担任へ連絡）

2、児童・生徒、教職員の COVID-19 感染が判明した場合、補習校としての対応

- 感染者の濃厚接触者の認定は、授業日から翌週の水曜日までに感染者が判明・報告を受け、同じ学級内で授業に関係した者（担任及び専科講師等の指導者、同学級児童・生徒、高等部は同履修者）
- 在籍する児童・生徒の内、複数（2名以上）の感染者が確認されれば、その学級は次回の1授業日をリモート授業とする。
- 濃厚接触と認められる教員は（PCR 検査や簡易の検査キットも可）を受け、感染が無いことを確認後、対面授業に当たる。

3、教室内、授業中、昼食、お昼休みの過ごし方について

- 机の配置（個人机は正面へ向け、教室の状況に応じて机間の距離をできるだけ離す）
- 校舎内・外でのマスクの着用はオプションとする。
- 教室へのハンドサニタイザー常備
- 学級以外への訪問制限（必要な場合は担任へ報告承認を得る）
- 昼食は2グループに分け、隔週でカフェテリアで摂食をする。
- 昼休みは学年部を2グループに分け、ローテーションを組み屋外で遊べるようにする。

4、救護担当事務職員

- 救護担当事務職員は見守り当番室に常駐し、けが等の対応や熱がある児童・生徒の一時判断を行う

5、登下校時の対応

- 登下校時の保護者送迎については、学部・学年や人数などによる入室制限は無い。
- 校舎内立ち入りは下校時間5分前以降とする。